

2021.2.22

株式会社 伊藤園

一般財団法人 カケンテストセンターにて茶殻配合モウルドの抗菌性試験を行いましたので結果を報告致します。

試験方法

試験方法：JIS L1902:2015 菌液吸取法 準用

試験菌種：MRSA・Methicillin resistant *Staphylococcus aureus* IID 1677

院内感染菌の一種で、メチシリンに耐性を持った黄色ブドウ球菌

試験方法概要

対象となる試験試料と対照試料（標準布）の両方に菌液を接種し培養します。同条件下で18時間経過の後、試験試料と対照試料の各コロニーを計数します。計数結果より生菌数を求めて抗菌活性値を算出します。

試験結果

試料	生菌数の常用対数値		抗菌活性値
	接種直後	18時間培養後	
茶殻配合モウルド	4.54	1.30	5.8
対照試料（標準布）	4.54	7.06	

抗菌活性値 = $(\log C_t - \log C_0) - (\log T_t - \log T_0)$

logCt：18時間培養後の対照試料の生菌数の算術平均の常用対数

logC0：接種直後の対照試料の生菌数の算術平均の常用対数

logTt：18時間培養後の試験試料の生菌数の算術平均の常用対数

logT0：接種直後の試験試料の生菌数の算術平均の常用対数

※logC0 > logT0 を満たす場合、抗菌活性値は logT0 を logC0 に置き換えて算出する。